

2026年9月16日

輸送動向について（2026年8月分）

1. 輸送概況

中東情勢が依然として不安定な中、足元では、為替や長期金利の変動が見られるほか、熊本地震や豪雨災害による生産活動や個人消費への影響が懸念されている。当社においては、食料工業品や農産品・青果物等の減送が続き、本年の輸送実績は前年を下回った。

コンテナは、エコ関連物資が、中央新幹線建設工事に伴う発生土の減少により前年を下回ったほか、食料工業品は、全国的に気温が前年より低かったことにより清涼飲料水及びビール類の出荷が伸びず減送となった。農産品・青果物は、前年に備蓄米の出荷があった影響のほか、本年は米の消費減少により前年を下回った。コンテナ全体では前年比92.2%となった。

車扱は、セメントが、前年に生産好調となった影響により前年を下回った。車扱全体では前年比95.3%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比93.2%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,230	1,335	92.2%	7,244	7,783	93.1%
車 扱	628	659	95.3%	3,012	3,005	100.2%
合 計	1,858	1,994	93.2%	10,256	10,788	95.1%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	77	89	-11	86.6%
	化学工業品	106	106	-0	99.9%
	化学薬品	71	73	-1	97.5%
	食料工業品	196	225	-28	87.2%
	紙・パルプ	159	151	7	105.2%
	他工業品	81	85	-4	94.8%
	積合せ貨物	235	231	4	102.1%
	自動車部品	51	54	-2	94.8%
	家電・情報機器	23	24	-1	94.7%
	エコ関連物資	26	64	-37	41.6%
	その他	200	228	-28	87.6%
	コンテナ計	1,230	1,335	-104	92.2%
車 扱	石油	422	433	-10	97.7%
	セメント・石灰石	126	140	-14	89.9%
	車 扱 両	58	64	-5	91.5%
	その他	20	21	-1	94.1%
	車 扱 計	628	659	-31	95.3%
合 計		1,858	1,994	-135	93.2%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)